



熊本大学

(熊本県)

緑豊かな歴史あるキャンパスで、日本人学生と共に学ぼう！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

熊本大学は、旧制第五高等学校（「五高」）を母体とする伝統のある国立の総合大学であり、現在、9学部等・8大学院1研究科に、約10,000人の学生及び約2,700人の教職員がいます。

また、文部科学省から、スーパーグローバル大学創成支援事業の対象校に選ばれた2014年以降、現在までにたくさんの卒業生が世界および各界で活躍しています。

熊本大学黒髪北キャンパス内には、国の重要文化財である五高記念館があります。100年前には小説家・英文学者で有名な夏目漱石や、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が教鞭をとったこともあります。

本学は、地方中核都市に位置する国立大学として、地域との連携等を強め、また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、国際交流の担い手の育成を目指しています。



五高記念館(正面)

② 国際交流の実績

2025年10月1日現在

- ・大学間交流協定校：131機関41か国/地域
- ・部局間交流協定校：134機関40か国/地域

合計：265機関53か国/地域

③ 過去3年間の受け入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受け入れ実績

2025年：留学生数546人、日研生7人

2024年：留学生数532人、日研生6人

2023年：留学生数475人、日研生3人

④ 地域の特色

熊本市は九州の中央に位置する人口約73万人の緑豊かな地方都市です。市の中心部には熊本地震にも耐え抜いた熊本城があり、路面電車が走り、行政機関、商業施設、レジャー施設等の設備が揃っている便利なコンパクト都市でもあるため、学生にとっては生活しやすい環境です。

また、九州各方面への鉄道の拠点となる熊本駅があり、東京へは飛行機で1時間半、大阪や京都へは新幹線で3時間のため、日帰りによる移動も可能です。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

以下の、(a)(b)両方を対象とします。

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

【日本事情・日本文化研究コース】

日本事情・日本文化に関わる研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

【日本語能力向上コース】

日本語能力のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行うもの

所属学部の指導教員による指導のほか、「研究科目」（次ページ⑩参照）については、学部の日本人学生と共学できます。

例年、日本語能力試験（JLPT）N1合格者は「日本事情・日本文化研究コース」を選択しています。学部レベルの講義を受講することで、より高度な日本語力を習得することができるため、日本語能力試験（JLPT）N1合格者には、「日本事情・日本文化研究コース」をおすすめします。

③ 受入定員

10名（大使館推薦8名、大学推薦2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- (1) 日本語・日本文化に関する分野を主専攻とする者
(2) 日本語能力試験（JLPT）N2合格相当のレベル以上が必要です。

⑤ 達成目標

- 【日本事情・日本文化研究コース】
日本語能力を高めるとともに、日本を対象とした研究を行う上で必要となる知識、技能を身につけています。
【日本語能力向上コース】
日本語能力を高め、社会で役立つ日本語・日本文化の知識を身につけます。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月中旬～2027年8月31日
(在籍期間：2026年10月1日～2027年8月31日)

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月～2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

(2026年度予定)

9月中旬～下旬	渡日（2025年は9月19日） 履修ガイダンス等、開講式
10月	新入学オリエンテーション
12月～1月	冬季休暇
1月～2月	定期試験
2月中旬～3月	春季休暇
4月	新学期開始
7月～8月	定期試験、修了レポート等提出 帰国オリエンテーション
8月中旬	閉講式（2025年は8月8日）
8月下旬	帰国

⑨ コースの修了要件

【日本事情・日本文化研究コース】
1年間に24単位以上を取得し、口頭試問の合格及び修了レポートを提出します。

日本語科目※	6単位
研究科目を各科目分野から合わせて	8単位
自由選択科目	10単位以上
	合計単位 24単位以上

【日本語能力向上コース】
1年間に24単位以上を取得し、指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出します。

日本語科目※	12単位
研究科目を各科目分野から合わせて	4単位
自由選択科目	8単位以上
	合計単位 24単位以上

※日本語科目は1学期毎に7単位までの履修制限があります。

上記2コースとも各修了要件を満たした場合のみ、修了証書を発行します。修了証書（1部）と成績証明書（英文2部）はプログラム修了時期（10月中旬）に各学生の原籍大学へ送付します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

日研生には、日本人学生と共学の「研究科目」が準備されています。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

【日本事情・日本文化研究コース】

日本語	6単位
研究科目各分野合計	8単位

【日本語能力向上コース】

日本語	12単位
研究科目各分野合計	4単位

※両コースとも、科目は学内のシステムを利用したガイダンス等や指導教員のアドバイスを受け、履修します。

II) 選択科目

【日本事情・日本文化研究コース】

日本語科目と研究科目各分野から・・10単位以上

【日本語能力向上コース】

日本語科目と研究科目各分野から・・8単位以上

「日本語科目」 2025年度例

上級後半文章表現：プロジェクトワークを通して、口頭発表とレポート作成を行います。プロジェクトワークでは、自らリサーチクエスチョンを立て、調査、分析、結果報告を行います。これらの活動を通して、論理的思考を養いながら、上級レベルの豊かな表現力を身に付けることを目指します。

「研究科目」 2025年度例

i. 日本語研究科目

日本語学特殊講義Ⅲ：現代日本語の研究方法を習得します。研究文献の探し方、文献の読み方、論文の書き方などを扱います。

ii. 日本社会研究科目

教職入門：教師とは・子どもと発達・教師をとりまくものについて学びます。

iii. 日本文学研究科目

日本語日本文学入門：日本語と日本文学を研究することの意義と方法について概説します。熊本方言、オノマトペ、近現代文学、古典文学などを扱います。

iv. 日本文化研究科目

日本史概説Ⅰ：日本の古代から戦国期までの主要事項を取り上げ、その歴史的意義、及び日本の古代・中世史の基礎を学びます。近年における中世史の研究状況も紹介します。

3) 研修科目で、地域の見学や地域交流等の参加出来る科目、及びその具体的な内容

人文地理学特講Ⅰ・Ⅱ：城下町である古町・新町における熊本地震被災後の変化を野外調査します。

また、留学生は学内で案内・開催されるイベントに参加し、学外の留学生や地域の人々と交流することができます。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

研究科目は全て、文学部・教育学部・法学部及び教養教育で開講されている科目です。それらの授業では、日本人学生と共に教養教育科目及び専門科目を学ぶことができます。



龍南健児像

⑪ 指導体制

指導教員・・・各学生に1名※

新入留学生は、学部等に所属し、指導教員は学生の専門に合わせてレポートの個別指導を行います。この指導教員は渡日前に決定します。

学生チューター・・・各学生に1名※

チューター（本学の日本人学生）を渡日から6か月間つけることができます。チューターの担当は渡日前に決定します。

※国際教育課が本プログラムの履修や日本語クラスについて、全体的にサポートします。

■宿 舎

黒髪北キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。200人以上の留学生や研究者が住むことが可能です。寮から大学までは自転車で10分くらいです。

<部屋タイプ> 単身室

<設備> キッチン・シャワー・トイレ・クローゼット・エアコン・ベッド・冷蔵庫・IHクッキングヒーター・机・いす・電話機（受信専用）等

<寄宿料> 月額 17,000円

（水道・光熱費を含まない）

*その他、入居時に預託金、
退去時に清掃費・鍵交換費が
必要です。

ふとんリース：約10,000円／年

インターネット：別契約 28,000円／年 程度

※2025年10月1日現在の料金です。

料金は、変更になる場合があります。



国際交流会館

■修了生へのフォローアップ

<修了後の進路例>

- ・大学院（母国・日本）進学
- ・日本企業勤務・日本語翻訳者



黒髪南地区

■問合せ先

<担当部署>

熊本大学学生支援部国際教育課

住所：〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL：+81-96-342-2103（直通）

FAX：+81-96-342-2130

Email：gji-ryugaku@jimu.Kumamoto-u.ac.jp

<ウェブサイト>

熊本大学多言語文化総合教育センター：

<http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学：

<http://www.kumamoto-u.ac.jp>

熊本大学 日本語・日本文化研修プログラム：

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram>